

あいづばんげ 議会だより

222号

令和8年7月24日発行
福島県会津坂下町議会



ばんげの「いい顔」みつけた！

東松峠を護る会

関連ページ…P12

目次 - CONTENTS -

第2回定例会	2
一般質問(7人が登壇)	5
議会の動き	10
みんなのひろば・編集後記	12

第2回定例会のあらまし

6月4日(木)～12日(金)の9日間の日程で開催しました。
8日と9日には一般質問が行われ、7名の議員が登壇しました。
人事案件10件、条例4件、補正予算8件、その他2件が提出されました。
提出された議案はすべて原案通り可決しました。

人事 農業委員会委員の選任 10名すべて同意

渡部 淳氏(古坂下)
渡部 敦氏(中村)
佐々木 穂氏(勝方)
齋藤 嘉美氏(福原)
五十嵐 朱美氏(五香)
橋本 善和氏(中政所)
鈴木 清介氏(宇内)
鈴木 寿夫氏(船運)
藤川 将仁氏(片門)
永山 隆氏(長井)

任期 令和8年7月20日から
令和11年7月19日まで



農業委員の仕事って何？

農地の権利移動や転用に関して、現地調査を行い、審議しています。
また、農家への農地集積や耕作放棄地の発生防止と解消業務を行っています。

条例 会津坂下町介護保険条例の一部を改正する条例

非課税の範囲内で就労時間を調整している方などで、介護保険料が増額されてしまいう方に対して、救済措置として「特例減免」を規定するものです。

補正予算

一般会計は、人事異動等に伴う人件費の補正、国・県補助金の確定に伴う各事業費の補正、地区要望による町道整備等の補正、令和7年度の繰越金を財政調整基金に積立する補正が主なものとなりました。
特別会計及び企業会計は、人事異動等に伴う人件費の補正が主なものとなりました。

(千円未満四捨五入)

	令和8年度	補正額	補正後の額
一般会計		3億3,665万円増	88億5,665万円
特別会計	国民健康保険	51万円減	17億4,349万円
	介護保険	167万3千円増	24億2,167万3千円
	後期高齢者医療	75万5千円増	2億7,775万5千円
	坂下東第一地区土地区画整理事業	260万8千円増	2億7,481万3千円
企業会計	水道(収益的収入)	48万円減	4億6,665万6千円
	水道(収益的支出)	485万4千円増	4億7,782万2千円
	水道(資本的収入)	77万円増	9,216万円
	水道(資本的支出)	96万9千円増	1億3,286万1千円
	下水道(収益的支出)	58万7千円増	4億5,679万3千円
	下水道(収益的支出)	521万7千円増	4億4,828万5千円
	下水道(資本的収入)	24万円減	3億6,124万1千円
	下水道(資本的支出)	344万1千円減	4億4,158万8千円

収益的収入とは

・水道を利用している方からの水道料金 など

収益的支出とは

・馬越浄水場から供給されている水道水の代金
・委託費(水道施設の点検、修繕などの外部委託)
・職員の人件費 など

資本的収入とは

・国の補助金
・国や金融機関からの借入金 など

資本的支出とは

・水道施設の工事費
・借入金の返済 など

私はこう判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	高久 敏明	目黒 克博	物江 政博	横山 智代	小畑 博司	佐藤 宗太	五十嵐 正康	山口 享	五十嵐 一夫	水野 孝一	酒井 育子	青木 美貴子	赤城 大地
議案第 29 号 会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第 32 号 会津坂下町新庁舎建設基本計画	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 退：退席 議長は採決に加わりません

討論



議案第29号 会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対 国保税に子ども子育て支援納付金を加えることに反対する。
物価高騰・増税の中、国民生活をさらに圧迫するものである。 (横山智代議員)

反対 国民健康保険税に「子ども子育て支援金」が入り込むことは、今後において軍事費が形を変えて徴収されることへつながる懸念が有り、到底容認できないので反対する。
(小畑博司議員)

※討論とは…議案に対する賛否の考えを示すもので、各議員が様々な知見や考えに基づき発言するものです。

請願の結果

	件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
第 1 号	ＩＣＴ教育推進のみでなく、子どもの健康や学力などの検討を求める請願について	千葉親子	佐藤宗太	採択
第 2 号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求めることについて	福島県教職員組合 中央執行委員長 酒井 和紀 福島県教職員組合両沼支部 支部長 星 和雄	小畑博司	採択

討論



請願第1号 ＩＣＴ教育推進のみでなく、子どもの健康や学力などの検討を求める請願について

賛成 ＩＣＴ教育先進国においては子どもの健康面だけでは無く成績向上に逆行する影響があるとして、多額の予算を使うタブレットによる教育から紙の教科書へ戻すという流れになっており、日本においても児童生徒へ同様の影響があることが懸念される。よってこの請願に賛成する。
(五十嵐正康議員)

着々と進む庁舎建設

基本計画策定

第2回定例会において本計画が議案として提出され、賛成多数で可決しました。

新庁舎建設基本計画って何？

役場庁舎の在り方や必要な機能の検討を踏まえ、町が目指す新庁舎整備の基本的な考え方を示すものです。

主な質疑



基本計画は
この内容が
こちら

問 新庁舎建設の概算事業費41億円は、参考額なのか、それとも上限額なのか。

(高久敏明議員)

答 物価の上昇等不透明な部分があるため、目標値として位置づけております。

(建設課長)

問 防災倉庫は小規模なもので十分だという認識でいいか。

(五十嵐正康議員)

答 緊急時に職員の約6割が災害対応にあたりと想定し、最低3日分の飲食が確保出来るようなイメージで記載しております。

(副町長)

討論

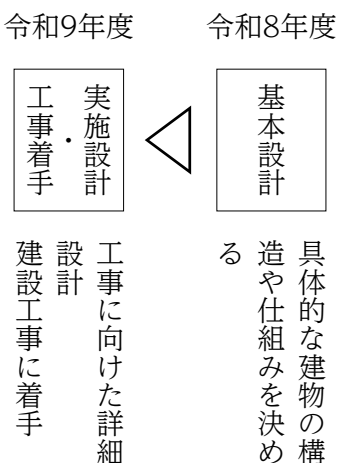
反対

庁舎位置については首尾一貫反対。現庁舎周辺を支持しているので、本議案には反対する。

配置計画は議論の余地あり、町民各方面との対話を求める。町民からの意見の申し入れ、話し合いに理解を深めるため、繰り返しキャッチボールをするように応じていただくことを申し上げる。

(五十嵐一夫議員)

今後のスケジュール



新庁舎視察研修レポート ～福島県西郷村～



気になる規模は…

本体工事費：約47億円

延べ床面積：6196.94㎡

※会津坂下町新庁舎建設基本計画では、延べ床面積4,000㎡を計画しております。

村民が自由に交流出来る「NiCoまる広場」や、会議室が設置され、交流活動を支える工夫がされていました。



正面玄関を入ってすぐに広がる「NiCoまる広場」

7月3日、新庁舎建設検討特別委員会では、庁舎の造りや機能を研究すべく、4月に開庁した西郷村庁舎を視察研修してきました。

庁舎の複合化

郵便局がテナントとして設置され、保健福祉センターを集約するなど、村民が利用しやすい庁舎となっていました。



庁舎内に設置された郵便局

議場

災害時等に利用出来るように検討を重ねられ、段差が無いフラットな造りとなっていました。



フラットな造りの議場

一般質問

これでいいのか！
町政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。
一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では7人が登壇しました。
掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。
QRコードから、各議員の一般質問の映像をご覧ください。
また、会議録もホームページをご覧ください。

YouTube
(議会トップページ)



会議録



通告の順番により質問がされました

順番	議席番号	氏 名	通 告 内 容
1	9	五十嵐一夫	道の駅にホテルとコンビニの誘致を ほか
2	1	高久 敏明	坂下東第一土地区画整理事業について
3	4	横山 智代	教育行政について ほか
4	2	目黒 克博	自主防災組織支援について問う ほか
5	6	佐藤 宗太	通学の安全対策について ほか
6	5	小畑 博司	庁舎跡地に建設予定の振興施設の考えについて伺う ほか
7	11	酒井 育子	新ごみ焼却施設建設費の負担金への対策は ほか

議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単。
受付簿に名前を書きだけ！
第3回定例会は、令和7年度決算の審議が行われます。
会津坂下町の現状や今後について知ることができるチャンスです。
ぜひ一度足をお運びください！



【令和8年第3回定例会日程（予定）】

9月	3日(木)	招 集 日
	7日(月)	一 般 質 問
	8日(火)	一 般 質 問
	11日(金)	決算特別委員会（一般会計）
	14日(月)	決算特別委員会（特別会計）
	16日(水)	最 終 日

※日程は変更になる場合があります。



いがらし かずお
五十嵐 一夫 議員

町に宿泊施設が必要だ!!
道の駅にホテル
コンビニの誘致を
相乗効果で機能を発揮できると考えております

映像はこちら
から↓

問 道の駅は大変賑わっており、夜間の利用も多い。賑わいからすると施設の規模が小さく、拡張すべきでないか。

道の駅にホテル併設展開の事業者があり、ホテルとコンビニの誘致を提案する。

答 湯川村・会津坂下町への地域経済活性化が期待され、ロードサイド型ホテルとコンビニの相乗効果により、地域振興施設としてさらに機能を発揮できると考えております。

誘致対象企業の情報収集に努め、交渉協議ができる段階になれば、事業者と足並みをそろえ対応してまいります。

問 景観を利用し、趣向を凝らしたイベントを提案する。

答 「会津ウルトラウオーカー2」を予定しており、「レンタサイクル」事業を開始します。知恵と工夫を凝らし、様々な取り組みを企画してまいります。

長期滞在型施設の事業展開を有効性と課題を明らかにしてまいります

問 成功している下郷町の滞在型市民農園「クラインガルテン下郷」に倣い、農業体験・観光拠点・長期滞在施設を「県農業総合センター」とのタイアップ事業として展開しよう。

答 「県農業センター」は景観や日当たりも良く、ロケーションとして適していると考えます。下郷町の当事業は2010年当時で約4億円、現在実施すると、建設費の高騰により大きな財政支出の事業です。公設民営・民設民営など、運営形態や整備手法の理解を深め、有効性と課題を明らかにしてまいります。



クラインガルテン下郷
30棟全て年間貸し切り済
農業体験や周辺観光に利用

これも質問

問活用可能な空き地を町が積極的に引き受け、町中のホテル誘致等に活用していく。



たかく としあき
高久 敏明 議員

どうなってるの!?
坂下東第一土地区画整理事業の進捗状況は
令和18年度には面的整備を完了し、5年間の清算期間を設け、令和23年度には完了を目指します

映像はこちら
から↓

問 今後のスケジュールと完了時期、残事業費について、10か年の整備スケジュールは。

答 令和7年度に、古坂下・桜木町で開催した説明会等でご説明いたしました令和7年度から10年間の事業計画の進捗状況については、10年間の総事業費に対する進捗率は4.5%となっており、計画に対する事業の遅れが生じています。

今後の事業の進め方については、交付金の活用を図りながら都市計画道路坂下羽林線及び坂下喜多方線の整備完了に向け重点的に取り組んでまいります。また、その他の路線についても令和18年度には面的整備を完了し、5年の精算期間を設けて令和23年度を事業完了を目標とします。



都市計画道路坂下喜多方線
(原街道)

事業計画の見直しの必要性はないのか

過去に区域縮小等の見直しを検討しましたが、不可能であるとの結論です

問 当初計画から30年以上の期間が経過しており、社会環境は大きく変化している。計画内容を見直す必要があると考えるが町の見解は。

答 本事業は当初計画より30年以上経過し、事業の進捗に遅れが生じているため、度重なる事業計画変更をせざるを得ない状況であり、施工者として反省すべき点であると認識しています。この間、社会環境も変化していますが、令和6年度に計画期間を令和18年度まで延長いたしました。道路、公園などを整備し、良好な環境を備えた住宅地として現在の事業計画を最大限進めることが施工者として求められていると認識していますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。



よこやま ちよ 議員
横山 智代

クマ出没多発注意!!
徒歩通園・通学の児童・生徒
をクマから守る対策は
緊急時における体制の強化を図ってまいります

映像はこちら
から↓



問 昨年から今年にかけてクマの出没が多く聞かれるが、通園・通学の児童・生徒のクマ対策はどのように考えているのか。

答 クマの出没は、朝と夕方以降に多発しており、登下校、登降園の時間帯に近く、被害の未然防止に向けた安全管理が極めて重要であることから、警察や鳥獣被害対策実施隊、行政区と連携した注意喚起や警戒パトロールを実施するとともに、教育委員会や庁内関係部署との迅速な情報共有や役割等について再点検し、緊急時における体制の強化を図ってまいります。

幼稚園・中学校の学校給食費無償化を
国の動向を注視しつつ、引き続き検討してまいります

問 4月から国の制度で小学校の給食費無償化が始まったが、幼稚園・中学校の給食費を町として無償化すべきではないか。

答 国では、中学校への制度拡大について、小学校を実施した後の検証で、給食実施状況の違いなどを踏まえながら、できる限り速やかに実現するとしておりますが、まだ方針は示されておりません。今後物価高騰の影響により給食の質や量の確保も困難が予想されることから、完全無償化及び中学校無償化の早期実現を求める要望を関係機関に行ったところ です。今後も、町による食料費の一部負担を継続しながら、国の動向を注視しつつ、中長期的な財政見通しを踏まえたうえで検討してまいります。

これも質問

固加齢性難聴者への補聴器購入の補助制度を求める。

固小学校での環境問題の学習の推進や子どもたちへの平和学習の考えは。



めぐろ かつひろ 議員
目黒 克博

町民の安心安全のために
自主防災組織への支援は
今後も設立及び活動支援を継続
してまいります

映像はこちら
から↓



問 地域防災力を高める、自主防災組織設立支援推進の考えは。現在、町内には4つの自主防災組織がありますが、近年は新たな設立が進んでおりません。災害時には高齢者や障がい者などへの安否確認や避難誘導など、地域住民による迅速な対応が必要不可欠です。地域の安全は地域で守るという意識を高め、自主防災活動への理解を深めることで組織化を促進し、今後も自治会活動や防災訓練を通じて設立・支援活動を継続し、自主防災組織の拡充を目指してまいります。

問 どのような運行管理をしているのか。

答 車両の運行にあたっては、交通法規の遵守・安全運転を心掛け、利用者及び職員の安全確保を最も優先すべきであると認識しております。

町所有のバス運行については、運

これも質問

固ツキノワグマ出没時の対策・対応は。

固乗合バス・コミュニティバス運行路線は。



行マニュアルの徹底を図り、運行前・運行中・入庫後にはチェックシートにより、車両状態等を確認し安全な運行を実施しております。さらに「マイクログバス使用管理要綱」において、一定の基準や制限を設け、運転者の過労軽減及び事故防止に努めているところです。運行管理については、運転前のアルコールチェックの他、運転管理記録表を整備し適切に実施しております。今後も交通事故ゼロを目標に、安全な公用車の運行体制の維持に取り組んでまいります。



さとう そうた 議員
佐藤 宗太

問 道路交通法改正による影響は。

答 9月1日に施行される改正道路交通法施行令では、生活道路における法定速度が60kmから30kmへ引き下げられる予定であります。中央線の引き直しや、速度規制看板の設置などにより、地域住民生活に支障が生じないように措置を講じてまいります。

問 十分な自転車レーンが整備されていない場所が多いが、自転車事故の防止に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 警察や交通安全関係団体と連携し、広報紙やSNS等を利用した自転車の基本的な交通ルールや、例外的に歩道を通行できるケースなどの周知を徹底してまいります。



自転車専用レーンの明確化を

事故ゼロを目指しましょう

映像はこちら
から↓

道路交通法改正の認識は

交通事故を減らすための実践的な改正であり、重要な内容であると認識しております



通学路周辺にクマが出没した際の対応は

緊急を要する場合には捕獲に向け対策します

問 自治体によつてはスクールバスでの通学の取り組みが始まっているが、未然に危機を回避するためにはどのような対策をされているのか。

答 地域見守り隊の方々にご尽力いただき、地域全体で子どもたちの安全を守る体制が築かれております。クマやイノシシ等の野生鳥獣の対策については、「クマ等出没時対応マニュアル」に基づき、緊急対応が必要であると判断される場合、教職員との情報共有や一斉メールによる保護者への送迎依頼を行うなど、状況に合わせた対応を行っております。

問 長期休業中の預かり保育での弁当持参に対する、管理上の安全対策は、長期休業中の預かり保育での給食提供の考えは。

これも質問

長期休業中の預かり保育での弁当持参に対する、管理上の安全対策は、長期休業中の預かり保育での給食提供の考えは。



おばた ひろし 議員
小畑 博司

問 社会福祉協議会は地域福祉向上の大きな役割を担っているとの認識だが、町は何を求めているのか。

答 町で委託している、介護、福祉等に関する様々な相談や悩みを聞き、適切な機関へとつなぐための地域包括支援センター事業をはじめ、民生児童委員協議会事務局や、敬老会・戦没者追悼式の運営、高齢者サロンの活動支援、福祉用具の貸し出し等があります。独自事業として、高齢者への除雪費助成事業等創意工夫しながら事業を行っていたいております。町といたしましては、地域に寄り添い、地域の実情に沿った、より一層の取り組みを期待しております。

やさしい町へ

映像はこちら
から↓

社会福祉協議会に何を求めているのか

地域に寄り添い、地域の実情に沿った、より一層の取り組みを期待しております



稲作を持続可能にするために何ができるのか

農業基盤の強化等を重点的に取り組みます

問 持続可能な稲作をするため町のできることは何か。

答 生産資材の高騰なども重なり、先行きが不安な状況にあります。町としましては、国の動向を注視しつつ、コメを作りながら需給調整に取り組むとともに、「農業基盤の強化」「担い手の育成・確保」「環境変化への対応」を重点的に取り組み、安定的な農家所得の確保につなげてまいります。

問 町としましては、国の動向を注視しつつ、コメを作りながら需給調整に取り組むとともに、「農業基盤の強化」「担い手の育成・確保」「環境変化への対応」を重点的に取り組み、安定的な農家所得の確保につなげてまいります。

答 生産資材の高騰なども重なり、先行きが不安な状況にあります。町としましては、国の動向を注視しつつ、コメを作りながら需給調整に取り組むとともに、「農業基盤の強化」「担い手の育成・確保」「環境変化への対応」を重点的に取り組み、安定的な農家所得の確保につなげてまいります。

これも質問

町現庁舎跡地に町民交流スペース等の振興施設を設置する考えはあるか。



社会福祉協議会



3月に視察した環境センター(会津若松市)

答 生ごみについては、家庭から出るごみの約4割をしめており、自己処理しやすいようにコンポストや電動式生ごみ処理機等の購入補助を行っております。

伐採した木等については、チップ化の他に活用方法を調査研究しており、減量化に有効な方法を発信していきたいと考えております。

問 ごみ減量化のため、生ごみや庭で伐採した木などを資源化し、活用出来るような取り組みを検討すべきではないか。



さかい いくこ 議員
酒井 育子

**減量化のため
ごみ対策の現状は
有効な方法を研究し発信してま
いります**

映像はこちら
から↓

**管路DBの掘り返し工事に対する町民の声は
通行のしにくさ等のご意見をいただいております**

問 工期と工事費はどうなっているのか。

答 8月末まで工期を延長しましたが、現場の作業は7月末までに終了する予定となっておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

工事費については、適正な積算をしておりますが、中東情勢の影響等に伴う資材単価の変更等については基準にのっとり行っておりま

これも質問

関自主財源の増収を図るためにどのような施策を考えているのか。

“ばんげ”の明るい未来のために

ばんげ未来トーク派遣依頼募集!!

ぜひ私たちと一緒に「ばんげの明るい未来」について語り合しましょう！
皆さんの声をお聞かせください！



〜〜〜〜〜〜〜〜

◎申込方法◎

実施希望日の3週間前までに、議会事務局へお申し込みください。

お申し込みの際は、所定の様式に記入していただく必要があります。下記HPからダウンロードしていただくか、事務局までお問合せください。

会津坂下町議会事務局

電話 84-1507



1. 実施期間

令和8年4月1日～令和9年1月31日
(土日祝、夜間も可。※年末年始を除く)

2. 懇談時間

1時間～1時間30分程度

3. テーマ

①移住定住 ②子育て支援・教育
③産業振興・雇用 ④高齢者・障がい者福祉
⑤環境・まちづくり ⑥防災 ⑦その他

4. 対象

町内在住、在勤、在学の5名以上のグループ

5. 経費

無料(※公共施設以外での開催経費は申込者でご負担ください)



～熊出没に伴う要望書を提出～

町議会では、令和8年6月4日に、「熊出没に伴う小中学生の登下校時の安全確保についての要望」を町長に提出しました。



1. 熊出没時における小中学生の登下校時の安全確保のため、学校や保護者と連携し必要な措置を講ずること。
 2. 安心安全な通学環境確保のため、現在の通学手段の再検討を行うこと。
- 以上、2点について町議会から古川町長へ要望書を提出しました。

地域課題解決のために 両沼地方町村議会議員交流会

7月10日、柳津町において「第25回両沼地方町村議会議員交流会」が開催され、株式会社雨風太陽 代表取締役社長 高橋博之氏の「都市と地方をかきまぜる」と題した地域課題解決のための講演を聴講しました。

その後、両沼7町村の議員同士で懇談し、人口減少問題等の意見交換を行いました。

これからも、地域課題の解決に繋がりますよう、議会で取り組んでまいります。



株式会社雨風太陽 代表取締役社長 高橋博之氏

今年も東京で再会 会津坂下会総会に参加しました

今年も6月21日に東京で開催されました会津坂下会総会にお招きいただき、議員9名が参加しました。

今年の参加者はおよそ70名、新規会員も加わり、盛大に開催されました。

町の近況報告、首都圏でのPRイベントの紹介やふるさと納税の案内をし、心強い協力のお言葉をいただきました。

親睦会では、全員で恒例の会津磐梯山を踊り、絆を深めました。





行政視察の受け入れ ～宮城県亶理町～

7月9日、宮城県亶理町議会総務常任委員会の皆様が、「協働のまちづくり」と「地域おこし協力隊」について調査・研修のため来町されました。

政策財務課の職員及び地域づくりコーディネーターより、町の概要や協働のまちづくりについて若宮地区の事例を中心に、その成果と実績、目標、課題解決の取り組みについて説明しました。

地域おこし協力隊OBからは、参画の経過、3年間の体験、移住することになった経過を説明し、活発な質疑・応答が行われました。



宮城県亶理町議会総務常任委員会の皆様

学ぶ

よりよい広報紙のために… 福島県町村議会議長会主催広報研修会

7月1日、ビッグパレットふくしまで広報研修会が開催されました。

読まれやすい・親しみやすい「議会だより」を作るために、広報マインド(目的のために、誰に何をどう伝えればいいのか)に立ち返ること、また、全体的な要約の記載、表やグラフにより分かりやすく伝えることが重要であることを学びました。

研修で学んだことを生かし、住民の方に興味・関心を持っていただけるような分かりやすい「議会だより」を目指してまいります。



NEW

広報広聴特別委員会委員の紹介

今号より新たなメンバーで紙面作りを行ってまいります。



委員長 青木 美貴子

コメント：議会と町民の方との良い架け橋になるような広報を目指します。



副委員長 佐藤 宗太

コメント：町民の皆様に分かりやすい広報作りに努めてまいります。



委員 高久 敏明

コメント：町民と議会をつなぐ架け橋となる広報活動に努めます。



委員 山口 享

コメント：手に取っていただける紙面作りに努めてまいります。



委員 五十嵐 一夫

コメント：久しぶりの委員会です。伝わる紙面作りを研究していきます。



東松峠を護る会

東松峠は、旧越後街道にある会津坂下町天屋、本名地区と西会津町軽沢地区を結ぶ峠です。

街道沿いには峠の山頂に茶屋の跡や、明治時代に地域の人々が人力で掘削し貫通させた東松洞門などがあり、昔の人々の生活や歴史を感じられる街道となっています。



「東松峠を護る会」は今年で設立から25周年を迎え、現在の会員数は30名です。会員のみなさんが主体となり、この歴史的な道を護っています。

活動は4月～11月までの積雪の無い時期に、峠道の草刈りなど、維持、補修作業を行っている他、峠の名称となっている東松の遺伝子を受け継ぐ「ひこ東松」を護り育成するために、周辺の草刈りや消毒等を実施しています。

また毎年10月には実行委員会を組織して「東松ウォーキング大会」を実施しており、参加者に美味しい蕎麦の提供も行っています。



編集後記

今年の田植え時期も終わり、町内の田んぼにも稲が並び、美しい田園風景が広がる季節となりました。

少子高齢化による人口減少など地域を取り巻く環境は大きく変化しています。が、先人から受け継がれてきたこの豊かな風景を守り、次の世代へもしっかりと引き継いでいきたいものです。

これからも町民の皆さまと共に地域の未来を考え、より良いまちづくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも議会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(高久 敏明)

広報広聴特別委員会

委員長	青木美貴子
副委員長	佐藤 宗太
委員	高久 敏明
委員	山口 享
委員	五十嵐 一夫